

消防団の出動区分

	第 1 次出動分団	第 2 次出動分団	第 3 次出動分団
本 部 分 団	全 域	全 域	全 域
安 桜 地 区	安 桜 ・ 本 部	倉 知 ・ 田 原	全 域
旭ヶ丘地区	旭ヶ丘・本部	富岡・下有知	全 域
瀬尻地区	瀬尻・本部	千疋・小金田・広見	全 域
倉 知 地 区	倉 知 ・ 本 部	安 桜 ・ 田 原	全 域
富 岡 地 区	富 岡 ・ 本 部	旭ヶ丘・下有知	全 域
千 疋 地 区	千 疋 ・ 本 部	瀬尻・小金田・広見	全 域
田 原 地 区	田 原 ・ 本 部	安 桜 ・ 倉 知	全 域
下有知地区	下有知・本部	旭ヶ丘・富岡	全 域
富 野 地 区	富 野 ・ 本 部	武 儀 ・ 上 之 保	全 域
小 金 田 地 区	小 金 田 ・ 本 部	瀬尻・千疋・広見	全 域
広 見 地 区	広 見 ・ 本 部	瀬尻・千疋・小金田	全 域
洞 戸 地 区	洞 戸 ・ 本 部	板 取 ・ 武 芸 川	全 域
板 取 地 区	板 取 ・ 本 部	洞 戸 ・ 武 芸 川	全 域
武 芸 川 地 区	武 芸 川 ・ 本 部	洞 戸 ・ 板 取	全 域
武 儀 地 区	武 儀 ・ 本 部	富 野 ・ 上 之 保	全 域
上 之 保 地 区	上 之 保 ・ 本 部	富 野 ・ 武 儀	全 域

※災害の規模により、直ちに第2次出動、第3次出動となる場合がある。

※2次・3次出場の判断は消防団長または現場最高責任者が判断する。

具体的な出動区分（例）建物

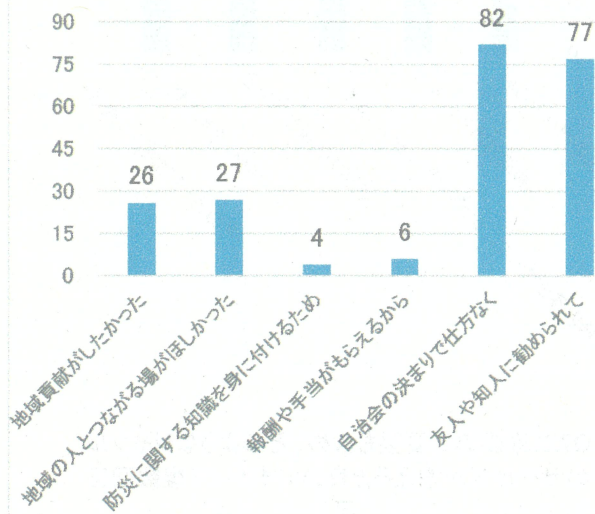
建 物 火 災	・ 通報の時点で「炎上」が確認できた場合 ・ 消防署が「炎上確認」若しくは現場到着し必要があると判断した場合	第 1 次 出 動
	・ 建物密集地等で延焼の恐れがあると判断した場合	第 2 次 出 動
	・ 建物密集地等で延焼拡大する恐れがある場合	第 3 次 出 動

实施済 団・自治会 周知中 団計画案提示済

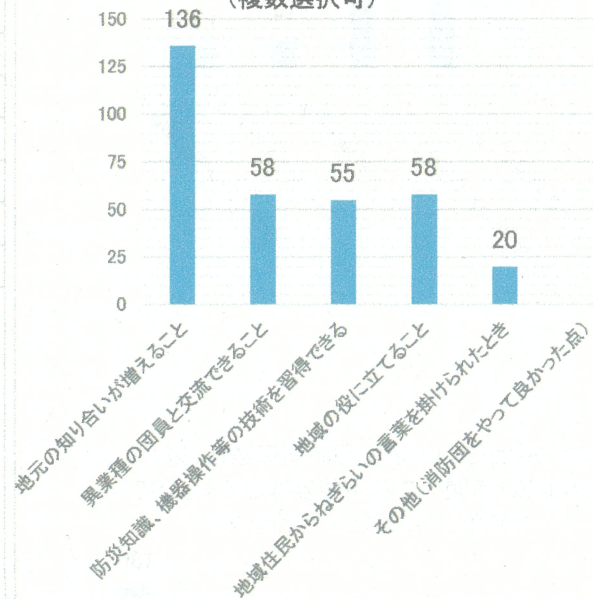
関市消防団員アンケート（令和5年度）の結果

実施期間 令和5年10月10日から令和5年10月29日まで
 調査対象 消防団員979人（基本団員755人 機能別団員224人）
 回答者数 消防団員184人（基本団員180人 機能別団員 4人）
 回答率 18.8%
 回答者役職 団員86人 班長・部長56人 副分団長以上38人 機能別団員4人

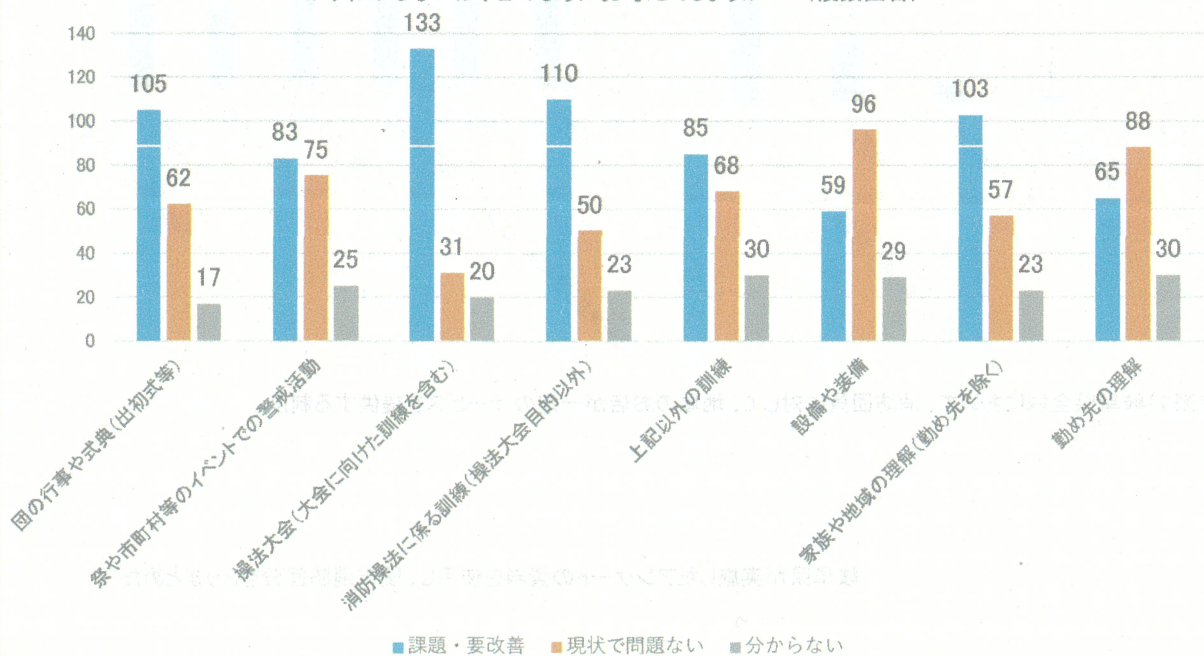
Q1 消防団に入ったきっかけは？
（複数選択可）



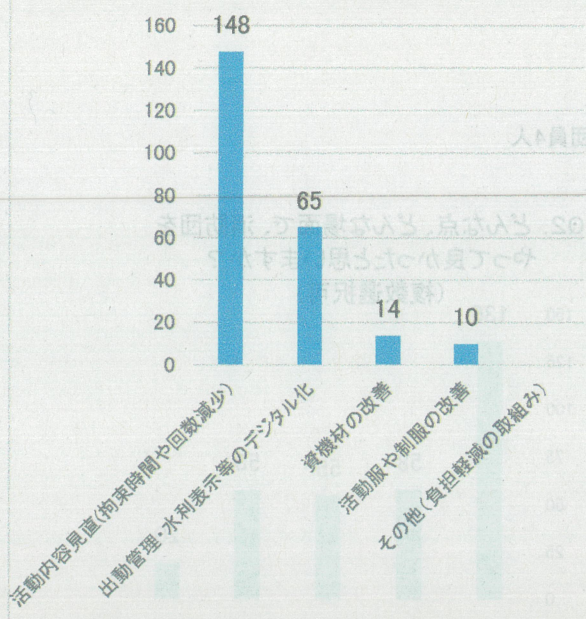
Q2. どんな点、どんな場面で、消防団を
やって良かったと思いますか？
（複数選択可）



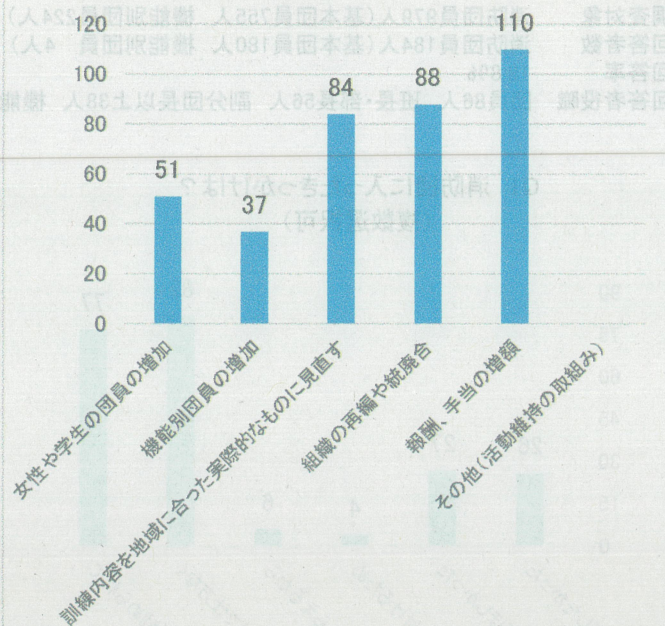
Q3 消防団に関する次のそれぞれの項目について、課題であり改善が必要か、現状で問題ないか、わからないか、どのようにお考えでしょうか？（複数回答）



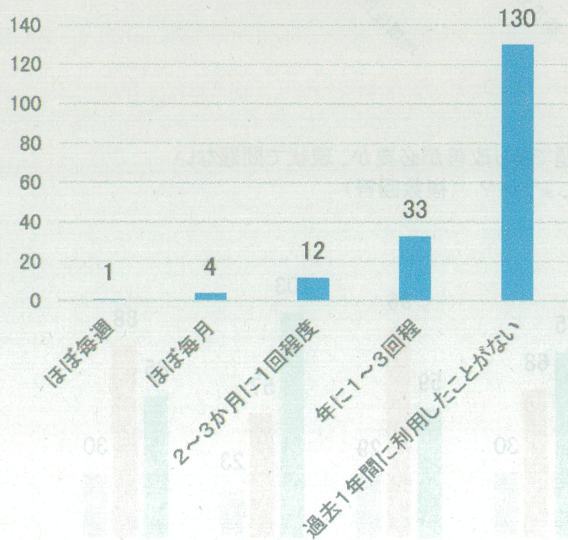
Q4 全国的に団員の負担軽減が課題と
なっていますが、どのような取組みが必要
でしょうか？（複数選択可）



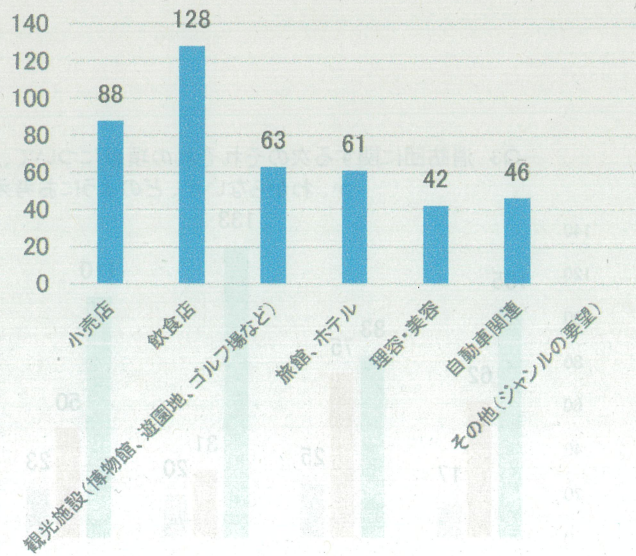
Q5 人口減少等により消防団活動の維持が一
段と厳しくなるなかで、活動を維持していくた
めには、どのような取組みが必要でしょうか？（複
数選択可）



Q6.ありがとね！消防団応援事業所(※1)
の過去1年間のご利用頻度はどのくらいで
すか？（ご家族を合わせて）



Q7.ご家族のご要望も含め、どのようなジャンルの
のサービスが増えると良いですか？（複数回答
可）



(※1) 岐阜県全域において、消防団員に対して、地域のお店が一定のサービスを提供する制度。

岐阜県が実施したアンケートの資料を使用し、関市消防団分をとりまとめた。

	消防団名	出初式実施	備考
岐阜	岐阜市中	△	R5から、規模縮小・人員削減済み
	岐阜市南	△	〃
	岐阜市北	△	〃
	各務原市	△	R7から、規模縮小予定 ※ R8からは市民向けイベントにする予定
西濃	大垣市	○	
	神戸町	○	
	輪之内町	○	
	安八町	○	
中濃	関市		検討中
	美濃市	○	
	郡上市	×	
	美濃加茂市	△	R7は市中行進を負担軽減のため実施なし。一斉放水は現在検討中。
	可児市	○	
東濃	多治見市	△	R5から一斉行進の距離を減らし負担軽減を図った。
	中津川市	○	
	恵那市	○	
飛騨	下呂市	○	
	高山市	△	4年前頃から表彰数を減らし、時間短縮を図っている。
	白川村	○	
	飛騨市	×	R7から負担軽減及び雪のため廃止。表彰は4月入退団式に合わせて行う。

回答団数	19
○（従前どおり開催）	10
△（内容見直し開催）	7
×（廃止）	2

